

銃 取 り 扱 い の 3 原 則

撃つとき以外トリガーに指を掛けない 銃口を人に向けない 銃口を覗かない

■ 銃器の取り扱い及びマナー

- ・ 射撃時は必ずゴーグルを装着してください。
- ・ 暴発による事故防止のため射撃時以外はマガジンを外し、必ずセーフティ（安全装置）を掛けてください。
- ・ 自宅から会場までの移動時は銃などが露出しないよう、ガンケース等に入れましょう。
- ・ 迷彩服などは出来るだけフィールドで着替えるようにしましょう。
- ・ 参加者の飲酒はゲーム終了まで禁止いたします。
- ・ BB弾の袋やタバコの吸殻、飲食後のごみは全て各自の責任で持ち帰ってください。
- ・ 休憩中の射撃や終了後の残弾処理については必ず試射場で行ってください。

■ レギュレーション

1) 使用できる銃器

- ・ 日本国内で一般に市販されている「エアソフトガン」であれば使用できます。カスタムガン（外部・内部問わず）についての制限は特にありませんが、パワーチェックに合格することが絶対条件となります。
- ・ ヒット判定の曖昧さのため手投げ式グレネード弾、クレイモア、地雷は使用できません。

2) 使用できるBB

- ・ ゲームフィールドの環境に留意することから、6mm及8mmのバイオBB弾のみ使用できます。石粉などを主原料としたセミバイオと言われているBB弾やプラスチック等石油製品を含むBB弾は使用できません。

3) 弾数制限と銃の持ち込み

- ・ 弾数制限と持ち込める銃の制限は特にありません。

4) パワー

- ・ すべての銃において改正銃刀法（平成18年8月21日施工 平成19年2月21日完全実施）で定められた威力の上限を超えないこと。

*新しい法律の威力の上限は0.989ジュール以内（20℃～35℃の室内において計測）です。

6mmBB弾の場合、重さ0.20gで銃口初速98m/S以内

8mmBB弾の場合、重さ0.35gで銃口初速96m/S以内

*当日の気温や銃のコンディション等により必ずバラつきがありますので、6mmで95m/S以下

8mmで90m/S 以下が望ましい。

5) パワーチェック

- ・ 主催側スタッフが計測いたします。BB弾の重量は申告制。
参加者は当日使用予定の銃のマガジンにBB弾を装填、ガスガンはガスを充填、電動ガンはバッテリーを接続し、撃てる状態にしてマガジンを外して計測場でそれぞれ装填してあるBB弾の重量を計測係員に申告してください。

6) 使用できるゴーグル

- ・エアガン用として市販されているものであれば使用できます。ガラスレンズのサングラスは使用禁止とします。(判断が難しい場合は本部及びスタッフに確認してもらうようにしてください。)

7) 服装

- ・特に制限はありませんが、無用の怪我を避けるためにも、保護効果の高い厚手の長袖、長ズボンを推奨します。グローブ、ブーツ、帽子なども同様に安全性に留意した物が好ましいです。一年を通して虫などの発生がありますので必ず虫除け対策をしてください。

■ 禁止事項

1) ゴーグルの着用

- ・ゲーム進行中はゲームフィールド及びセーフティエリアではゴーグルを外すことを禁止いたします。見学者も同様です。
- ・休憩中ゴーグルを外すときは、試射する人もいますので安全を確かめてから行ってください。

2) ゲーム中の試射の禁止

- ・セーフティエリアは勿論、駐車場においてもゲーム進行中の試射や空撃ちはしてはいけません。

3) ゲーム中の貸し借り

- ・デッドゲーマーからの貸し借りは一切できません。
- ・ライブゲーマー同士の貸し借りは自由に行うことができます。

4) 情報提供の禁止

- ・死人に口無しです。デッドゲーマーは味方に一切の情報を提供してはなりません。

5) 刃物・火気の持ち込み禁止

- ・ナイフおよび銃剣などの刃物類についてはゴム製の物も含め、フィールド内への持込を禁止します。刃の付いていないグリップだけであっても紛らわしいので禁止です。したがってナイフアタックもありません。但し、ツールナイフを工具として使う場合は工具箱やガンケースに入れてセーフティエリアまでに限り持ち込むことは出来ます。
- ・火気のフィールド内への持込は原則として禁止ですが、主催者側が何らかの目的で発煙筒などを焚くことは例外としてありますが、その場合は必ず事前にアナウンスをいたします。
- ・金属製のケースに入った携帯用の蚊取り線香は使用できます。

6) 私語・ヤジ・雑音

- ・ゲーム進行中セーフティエリアでの会話はライブゲーマーの妨げになりますので小声でお願いします。

7) フィールドの逸脱

- ・エリアテープにより指定されたエリア外への逸脱およびエリア外からの射撃は出来ません。

8) ゾンビ行為及び暴言・暴力

- ・ヒットされても正直にコールがないなどゾンビ行為が悪質な場合即刻退場とし、以降のゲームへの参加をお断りします。
- ・被弾の成否について暴言を吐いてはいけません。白兵戦も禁止です。

9) 偽装の禁止

- ・戦闘中のゲーマーは故意に死体歩きなど紛らわしい行為をしてはいけません。

10) エリア外への射撃の禁止

- ・ゲーム中、休憩中にかかわらずエリア外に向けた射撃は絶対にしなないでください。

11) レーザーサイト及びフラッシュライト

- ・レーザーサイトの取り付けは自由ですが点灯は禁止です。フラッシュライトの点灯は味方同士の合図としての使用に限り認めます。

12) その他

- ・撮影などでカメラマンが入っている場合がありますが、目立つ格好をしていますので誤射のないように気をつけてください。

■ルール

1) ゲームの形態・時間

- ・基本的に2チームによるフラッグ戦を行います。1ゲームは15分から20分程度です。
- ・異なったゲームを行う場合は当日の責任者により説明がありますので、指示に従ってください。

2) ゲームの開始

- ・スタート地点でマガジンを装着し、スタートの合図があるまでは銃口を下に（ストレートダウン）向けておく。
* LMGなどマガジンの装着に時間のかかるものは除きます。
- ・開始の合図は必ず赤のフラッグ（セーフティ側）からホーンを3回、黄のフラッグがそれに答えて2回、赤に戻って長音1回で開始となります。

3) ゲームの終了

- ・終了の条件は3つです。①時間切れによる終了。②全滅による終了。③フラッグアタックによる終了。
- ・フラッグアタックはフラッグにタッチすることにより成立します。タッチしたなら速やかにホーンを1回鳴らしゲームを終了させてください。

4) エマージェンシーコール

- ・ゲームエリアに一般の人が接近および入ってきた場合、若しくは緊急を要する怪我等が発生した場合、発見した参加者は速やかにストップコールを発し、必ずスタッフ（陽炎メンバー）がゲームの責任者に速やかに連絡し、指示を待ちます。勝手な判断で直接解決することはしないでください。

この時ゲーム責任者よりホイッスルが長く繰り返し鳴らされます。参加者は戦闘態勢を解きその場にとどまってゲームの再開などその後の指示に従ってください。

5) 識別マーカーの取り付け

- ・赤、黄、の識別マーカーは最低限両腕に装着してください。ギリスーツなど巻きにくいものはピンなどで確実に取り付けてください。

6) 失格の判定

① 被弾による失格

- ・敵からの射撃、味方の誤射にかかわらず、全身全装備に1発でも被弾した場合失格となります。跳弾、流れ弾による被弾も同様です。

* フィールドの地形上、発射したBB弾が一時的にフィールド外を通過することもあります。その弾に当たった場合でも被弾とみなします。

② フリーズコールによる失格

- ・相手がこちらの存在に全く気付かないうちに、至近距離（概ね3m以内）に近づくことができた場合、一撃でヒットできるよう銃（銃に弾が入っているかどうかは関係なく、銃を持っていない場合手でも可）を相手に向け、聞こえるように「フリーズ」と声をかけます。この時掛けられた側は降伏または反撃のどちらかを選択しなければなりません。

降伏するならそのまま動きせずに相手に聞こえるように「アウト」「ヒット」と宣言してください。

反撃も可能ですが不利な条件であることを認識しておきましょう。

ナイフアタック及びタッチによるヒットはありませんのでフリーズコールをしてください。

③ フィールド逸脱による失格

- ・フィールドはエンドテープにより区切られています。エリア外への逸脱行為は失格となります。
もちろんエリア外からの射撃も同様です。

④ マーカー隠蔽（いんぺい）による失格

- ・故意にマーカーを取り去ったり隠したりした場合失格とします。

⑤ 負傷/遭難による失格

- ・万一負傷/遭難し、ゲーム続行困難と判断した場合自主失格とすることが出来ます。

7) 失格後の対処

- ・失格となったゲーマーは速やかに大きな声で「アウト!」「ヒット!」等大きな声でコールするか、手を上げるなどのポーズをとり失格宣言をします。マガジンを抜きセーフティを掛けます。銃を頭上に掲げ死体歩きでセーフティエリア前にある弾抜きボックスにセミオートで1発撃ってチャンバー内をクリアーにしてください。

被弾後の手順

ヒットコールをする — マガジンを外す — セーフティを掛ける

死体歩きで戻る — セーフティ前の回収ボックスにセミオートで1発撃ち込む

8) その他の注意

- ・セーフティエリアへ戻る途中、交戦区域を通過するときは、細心の注意を払い邪魔にならないようにしましょう。
- ・当フィールドは周囲が崖になっていますので戻るときは足場のいい場所を通るようにしてください。
- ・その場に留まらなくてはならない時も「死体歩き」の姿勢は崩さず、死体である旨アピールすることも必要です

ルールを守って

サバイバルゲームを楽しみましょう

急患診療について

比較的軽症な救急患者・・・休日夜間急患診療所

長岡市幸町 2-1-1 さいわいプラザ内 TEL0258-37-1199

重症な救急患者の場合は 119 番で救急車を要請してください。